

校長通信 (教職員版) 第14号 R1. 10. 15

SDGs 研修会の振り返り一統

【1】はじめに

前回に引き続き、SDGs 研修会の続編です。今回は、SDGs を学校教育に取り入れようとした場合に、どんな取り組み、どんなアイデアがあるか、先生方の意見を紹介したいと思います。

【2】先生方のアイデア

★環境、社会（共生・貧困）、国際の評論を学習する際に、SDGs の取り組みを紹介し、考えを文章化する時間を取り入れます。社会人としての心構えにもつながり、面接対策、入試対策への第一歩となると考えます。また、文章を紹介し、皆で取り組んでいくことを選び、まず行動してみることも大切だと感じました。

★生物は3学期に生態系の授業を行います。SDGs 全体の内容を紹介したいのと、自分で何ができるか、自分たち今宮高校は何ができるか・・・って考えてみようと思います。

★貧困、紛争、災害等で教育を満足に受けられない国との交流。その国の教育の向上を目的とするのではなく、いかに今宮高校の生徒が幸せであるということ認識させること。これが分かれば、教育を受けられるだけでも本当に幸せであると分かり、授業を大切にする。交流は文通・ビデオメッセージ。教材・文房具等を送る。

★3年次の課題研究の時間の課題を設定する助けになるのではないかと思った。

★昨年「課題研究」で、生徒たちと新今宮周辺の地域課題について取り組みました。最初の授業でSDGsについて説明し、17の目標のうちいくつかの目標と関連しているのかを考えました。

★今回の研修の良い所は、ゲームで楽しんだ後に重要な真面目な話という流れなので、「勉強」や「やらせる」意識では生徒に素直に入らないと思います。やるなら、産社総合・課題研究。「遊ぶように学ぶ」を意識したものにしたけれど、今すぐに案は出ません。

★授業の中に取り入れて、生徒と解決方法を考えていくことではないでしょうか。今の教材では限界があると思います…。知識の詰め込みばかりではなく、答えのない問いに思考し、発表し、共有できる機会をどう授業に落とし込むか教員と相談していきたいと思います。

★世界情勢について知ること。ゴミの分別等を通して、マナーアップに努めるよう働きかける。

★先日生徒が推薦入試の問題を持ってきて見ると、SDGsの17の項目から2つの大学に関係する分野を挙げて「あなたが入学したらこの2つの分野でどうかかわって学びたいか、論述せよ」という趣旨でした。大学レベルではSDGsは身近なものだと知りました。産社・総合・LHRだけでなく各教科内でも取り組んでいく必要を感じています。

★産社・探究で使いやすい切り口だと思います。教材や指導案もたくさん出ていますし。ただ、学校教育の場では、SDGsはひとつの切り口にすぎないということ、心にとめておく必要があると思います。

★SDGsの17のゴール設定（アイコン）から保健の授業で、今の単元はどれに当たるのか（もちろん複数あり）をしめし、問題提起やそのゴールを達成するにはどうしたらよいかを協議できる授業展開。実技では難しいが、JFA（日本サッ

カー協会)でSDGsの取り組みがあるので、それを参考に検討してみようと思います。

★生徒たちにも今日のような研修を受けさせてあげられたら一番良いと思います。

★産社の時間とかにゲームをやり、映像を見せれば良いと思います。

★3学年のどこかで教員ではなくJTBの方(今日のような専門的かつわかりやすい方)に来ていただいて経験、発表させたい。

★具体的な内容は、すぐには思いつきませんが、教育環境が良くない国やその状況を知り、その支援をすることで、自らの恵まれている状況を理解し、学習意欲に結びつけられれば良いのではないかと思います。

★①日常生活・学校生活で17の項目に向けてできる事を書き出す。グループワークでクラス、学年、学校で取り組むべき課題を具体的に決める。

②実際に世界で起こっている世界にある具体的な課題を複数提示し、その中からどういう解決策があるか個人グループで話し合う。それを自分の日常とつなげて(①とつなげて)できる事を考える。

③本日のカードゲーム

★SDGsは入試問題に出るとか出ないとかのレベルの問題ではないので、入試をエサに生徒に導入するのはおかしいです。

★古着交換会を今回だけでなく定期的に開催して(まだできるかどうか分かりませんが)いきたいと考えています。2年生の主権者教育で「SDGsの視点から今宮高校を良くするには」というものを考えています(予定)

★“産業社会と人間”や“総合学習”でSDGsについて小論文、コンクールを実施してはどうですか。どの目標について書いたかで分けて自分たちで評価させる。それをもとに討論させるとか。「今高生の主張」のように生徒自身にうちこませれば、それほど大変ではないと思います。

★やはり・・・新今宮付近の環境改善、地元の街おこし(各生徒の)

★SDGsを学ぶことで、「世界的な視点」を持つと同時に「まずは自分の足元の改革」から始めることも大切だと思います。(例)遅刻の減少への取り組み、自主規制への意識改革

SDGsのカードゲームの前段階の「開発貿易ゲーム」をまず行った方が、ゲームのルールや、伝えるべきことが絞られて良いのではと思いました。

★産業社会と人間で取り組めば・・・現代社会ではいかがでしょうか?

★全体(学年)+教室などでワークショップを実施するのはとても大切だと思います。

★今日の活動は非常に意味のあるものでしたので、生徒にも体験させたいと思いました。今の状況が待ったなしであること痛感しました。本日はありがとうございました。総合的な学習の中にも取り入れて行くといよいのではないかと思います。

★まず、SDGsとは何かを知ることが必要だと思いました。

★①まずは知らしめる(今日の研修のように)

②“社会貢献”を一步進めて“地球貢献”という意識を持たせて、1年の後半(前半は科目選択中心。但し①は実施する)で、それをテーマにPBLを実施する。全校的な取り組み(自治会?)を実施して、全学年が一体感を得る機会(文化祭で発表(パネルディスカッション、ポスターセッションなど))にできたら素晴らしい。探究活動(課題研究)では、その視点も導入させる(言わなくても生徒が勝手に入れるぐらいに思わなくてはと思う)。

★私は授業をする立場にないので、授業でどう生かすか?というのはいわかりません。今日のSDGsを体験してみて、私たちが体験したものをそのまま生徒が体験したらいいのではないかと思います。まずは基本を知ることが良いのではない

とかと思いました。

★1年生対象のMoG。吹奏楽の生徒に是非行ってもらいたいと思わせる内容。
社会人講師にSDGsの授業を年間通して実施。

★情報の共有によって分かることがふえましたが、現在のひろがりだけでなく時間軸に対する展開も可能かと考えています。目先の金ばかり追いかけるのではなく、過去から今までにも何が為されていたかを知ること必要だと思います。SDGsにしても正しく知ることができる前提で可能となってきたので、いろいろなことを正しく知るのが必要だと考えています。

【3】教育現場でSDGsを取り組むにあたって

先生方にいろいろとアイデアを出していただき、ありがとうございます。SDGsを学校教育に取り組む場面は、次の3つの場面ではないかと思います。一つ目は教科教育 二つ目は産社などに代表される探究学習 三つめは自主活動です。私が勉強してきたことをこの3つの側面で少し紹介したいと思います。

(1) 教科教育

先生方の中にもアイデアがちりばめられていたので、素晴らしいと思いました。いろいろな単元や教材でSDGsに触れることができると改めて感じさせられました。私の知っている取り組みですが、中学校の取り組みです。17の項目はもとも英文です。これを外務省が和訳したのです。例えば、こんなふうに・・・

Goal 1. End poverty in all its forms everywhere

1.1 By 2030, eradicate extreme poverty for all people everywhere, currently measured as people living on less than \$1.25 a day

目標1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

1.1 2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。

この英文を、自分たちの言葉で和訳している学校がありました。中学生には難しいかもしれませんが、辞書を片手に悪戦苦闘しながら自分たちの言葉で和訳していると報告がありました。

(2) 探究学習

産社などでSDGsに取り組むという意見が、多数ありました。その通りだと思います。問題は、その入れ方ですね。どなたかが書いておられたように、

第一段階 SDGsを知ること

第二段階 問題解決学習(PBL)として取り組むこと

だと思います。私が前に勤めていた〇〇高校では、「教育と探求社」の「クエストエデュケーション」を導入していました。「社会探究コース」-ソーシャルチェンジでは、「困った人を助けよう」をテーマに、誰をどのように助けるかのアイデアを12コマの時間をかけて考えます。グループ討議、ポスターセッション、クラスNo.1から学年No.1の決定、全国大会への参加というように進んで行きました。このようなPBLにSDGsの17項目を関連させて取り組むと、より視野が広がると思います。さらに、足元から考えさせるということも必要でしょう。これもどなたかが書いておられたように「街おこし」の視点が重要です。幸運なことに地元浪速区は、■■■高校との連携を熱望されています。浪速区から課題を提案してもらい、■■■生が政策提言を行うという取り組みも意味が深いと思います。

もう一つ、考えられるのは、修学旅行との連動です。これは誰も書いておられませんでした。全国の総合学科で進学校と言われるところの修学旅行は、探究学習と連動しています。せっかく大阪を離れて知らない土地に行くのですから、修学旅行の1日をSDGsに関して取り組んでいる町、人、企業、団体を訪ねて、その取り組みを学ぶというのも良いと思うのです。また、私が、JTBの研修で体験したように、日本に留学している大学生、大学院生から母国の課題を提起してもらって、SDGsの視点で解決策を考えるということもあります。

これらの取り組みのまとめとして、これもどなたかが書いておられたように、SDGsについての自分の考えを小論文としてまとめるということもできると思います。

(3) 自主活動

自主活動では、自治会での取り組みが考えられます。SDGs は、2015 年の 9 月に国連で採択されています。ちょうど本校の文化祭も 9 月。文化祭の企画として、SDGs に関するイベントを毎年取り組んでもいいですね。

例えば、地元大阪には、SHIHO さんがおられます。SHIHO さんは、アフリカケニアの女子学生に布ナプキンを送る運動をずっと続けておられます。彼女が、この運動を開始したきっかけは、あるケニアの女子校を訪れたときに、欠席し



ている女子学生が目立ったことがきっかけです。案内してくれた先生に尋ねると、「生理中なので、学校に来られない」ということ。日本では考えられないことですが、生理用ナプキンを買えない家がまだまだあるというのが現実です。そこで、彼女は、布ナプキンを送る取り組みを開始したのです。家にある古布を活用して、布ナプキンを作成するイベントをするのは如何でしょう。SHIHO さんは、音楽活動家でもありますので、ミニコンサートもやっていただけると思います。「SHIHO 布ナプキン」で検索すれば、すぐに webpage がヒットします。

また、「TABLE FOR TWO」という取り組みをご存じですか？このプログラムは、対象となる定食や食品を購入すると、1 食につき 20 円の寄付金が、TABLE FOR TWO を通じて開発途上国の子どもの学校給食になります。20 円というのは、開発途上国の給食 1 食分の金額です。つまり、先進国で 1 食とるごとに開発途上国に 1 食が贈られるという仕組みです。また、この定食や食品もカロリーに気を使ったヘルシーなものとなっています。このプログラムに参加している企業・団体は、紹介しきれないぐらいたくさんあります。私も webpage をみてびっくりしました。

このプログラムに食堂が参加するには、

1. カロリーが 730kcal (680~800kcal) 程度*
2. 栄養バランスが適正
3. 野菜が多め

というガイドラインをクリアする必要があります。■■高校の食堂で「TABLE FOR TWO」プログラムが実施できたら素晴らしいですね。毎日の昼食で、飢餓から子どもたちを救うことができるのですから。少し定食の値段が上がっても、ヘルシーな定食が食べられて、飢餓対策に貢献できるならいいですね。

TABLE FOR TWO の URL はこちらです。 <https://jp.tablefor2.org/>

【4】おわりに

SDGs の特徴は、「世界はつながっている」ということと「自分が起点になる」ということです。このように考えたときに、私たちは私たちの足元である教育現場から行動を起こしていくことでしょうか。教科では、個人でも始めることができます。チームで取り組めば、産社・総探・課題研究でも取り組むことができます。一つの学年が動き出せば、修学旅行も変わるでしょう。自治会が動き出せば、大きな取り組みができます。そうそう、今度 11 月 14 日に説明会を開催する「Mission on the Ground (MoG)」も SDGs の視点に立った国際交流です。

色々な形で SDGs に取り組むことはできると思います。先生方もいろいろとアイデアを出してほしいと思います。SDGs は、生徒を大きく変えます。可能性は大きいと私は思っています。